

2012.11.25 (Sun)
13:00-17:30 Open 12:30
ticket price: 入場無料

青山ジャズ・イニシャティブ 2012

Aoyama Jazz Initiative 2012

ジャズで築く社会のきずな

青山学院大学・青山学院講堂
(東京メトロ「表参道」駅徒歩5分)



青山学院大学ロイヤル・サウンズ・ジャズ・オーケストラ



村田陽一



浅野祥トリオ



日本大学リズム・ソサエティ・オーケストラ



鋤田修一
プロジェクト



海上自衛隊東京音楽隊



ザ・ビッグ・バンド・オブ・ローグス



ルイス・パジェ



チャリート

主催: 青山学院大学

協賛: 伊藤忠商事、日本オラクル

後援: 文化庁、毎日新聞社、ジャパントイムズ、国連大学、渋谷区教育委員会、港区教育委員会、Jazz Japan、日本ポピュラー音楽協会、
青山学院大学後援会、青山学院校友会

協力: 青山商店会連合会、Hondaウエルカムプラザ青山、ワコールアートセンター、紀ノ国屋、日比谷花壇、Body & Soul、Tokyo Weekender

お問い合わせ: 青山ジャズ・イニシャティブ事務局 TEL. 03-3589-3353



プロフィール

青山学院大学ロイヤル・サウンズ・ジャズ・オーケストラ [ゲスト:村田陽一(tb)]

青山学院大学ロイヤル・サウンズ・ジャズ・オーケストラは、40年以上続く学生ビッグバンド。1、2年生中心のジュニアバンド、3、4年生中心のレギュラーバンドの二つのバンドで構成され、総勢50名ほどで活動している。ジュニアバンドは主にスイングジャズの王道である、カント・ベイシーやデュークエリントンのナンバーを演奏し、レギュラーバンドは「マイルスの知恵袋」として著名なアレンジャーである、ギル・エバンスのナンバーを中心に演奏している。年20回以上のライブをこなしており、卒業パーティー、文化祭、定期演奏会での演奏や、他大学とのジョイントコンサートも多く開催している。また埼玉県川越市の大学ビッグバンドジャズ・フェスティバル、群馬県太田市大学JAZZフェスティバル、山野ビッグ・バンド・ジャズ・コンテストなど遠征やコンテストにも数多く参加し、これまでに数々の入賞経験があり、個人賞でも受賞歴がある。今年は5月に行われた、東京マニラ・ジャズ&アーツ・フェスティバルに出演し、日野皓正氏他、多くのプロミュージシャンとの共演も果たし、ますます活動の幅を広げている。

鎌田修一プロジェクト [鎌田修一(sax), 田中匡典(g), 西池達也(p,kb), 古川貴浩(b), 平川象士(ds)]

2008年に結成。都内、横浜などのライブハウスを中心に活動を開始。2011年2月には渋谷セルリアンタワー内の名門Jazz Club「JZ Brat」にも出演。好評を博す。リーダーの鎌田修一(くわだしゅういち)は青山学院大学Royal Sounds Jazz Orchestra出身。4年生の時にはコンサートマスターを務め、山野Big Band Jazz Contestにて審査員賞(総合9位)に導く。さらに、第5回太田市大学 Jazz Festivalにおいて優秀個人賞を受賞。在学当時からプロミュージシャンとの交流を深め、プロ活動を開始。近年は及川光博、YUKI、椎名林檎、SMAP、桑田圭祐、aikoなどのJ-Popsのツアーやサポート、レコーディングなどにも参加している。全曲鎌田アレンジによる「鎌田修一Big Band」も主宰。今回、オリジナル曲に加え、「鎌田修一Project」風にアレンジした楽曲も演奏予定。5人が奏でる爽快かつ疾走感あふれる極上Fusionサウンドは他に類を見ない。

浅野祥トリオ [浅野祥(津軽三味線)、森藤晶司(p), 中沢剛(ds)]

平成2年3月生まれ。三味線を弾く祖父の影響でものごとがついた頃より三味線を弾くポーズをとっては民謡を口ずさんでいた。3歳で和太鼓を習い始め、5歳より本格的に津軽三味線を始め、急成長を遂げる。8歳で弘前市において開かれた津軽三味線全国大会に史上最年少で出場し、D級(15歳以下)の部で優勝。翌年9歳で同大会一般C級の部(他の出場者は16~67歳)に出場し連続優勝をする。その後も毎年階級を上げて出場し、各級優勝の最年少記録を打ち出しつづけている。平成13年のみやぎ国体では総合開会式(宮城スタジアム)及びボクシング競技開会式で演奏を披露した。平成16年、平成17年、平成18年再び津軽三味線全国大会のA級チャンピオン3連覇を達成し、同大会を16歳にて卒業した。平成17年8月には愛知万博にて浅野祥トワイライトコンサートを開催、12月にはNHKで全国放送された「北国からのコンサート」で石川さゆりさんと共演し、じょんから節などを演奏した。また仙台市のグランディ21で行われた「ORANGE RANGE」のコンサートにゲスト出演し、メンバーと共に「キズナ」を演奏。2007年3月21日ビクターエンタテインメントよりメジャーデビューしファーストアルバム「祥風」をリリース。2012年9月26日、全編ニューヨーク録音の4枚目のアルバム「Parede」発売。

海上自衛隊東京音楽隊

東京音楽隊は、海上保安庁音楽隊を前身とし、昭和27年7月海上警備隊音楽隊として発足しました。のちに保安庁警備隊音楽隊、海上自衛隊音楽隊と名称を変え、昭和31年6月に現在の名称となり、防衛庁長官直轄の音楽隊として正式に編成が認められました。その後、平成19年1月防衛省への移行により、防衛大臣直轄の音楽隊となりました。陸上自衛隊中央音楽隊、航空自衛隊航空中央音楽隊と並び、海上自衛隊を代表するセントラルバンドとして、今上天皇即位の礼、皇太子殿下ご成婚パレードをはじめ、オリンピック、世界陸上競技会、万国博覧会等の国家的な行事に参加しており、「天皇陛下御即位二十年をお祝いする国民祭典」(平成21年)では奉祝演奏を行いました。また、日系移民100年祭(サンフランシスコ:昭和44年)、アメリカ建国200年祭(グアム:昭和51年)、ロシア海軍300周年記念行事(ウラジオストック:平成8年)、大韓民国国際観艦式世界音楽祭(釜山:平成10年)にそれぞれ参加したほか、海上自衛隊練習艦隊へ毎年隊員を派出し、世界各地の港を中心に音楽を通じての国際親善に貢献しています。今回は、ジャズコンボバンドで演奏します。このバンドは、昨年4月、宮城県松島町で東日本大震災被災者に対する慰問演奏も実施しました。

日本大学リズム・ソサエティ・オーケストラ

日本大学リズムソサエティオーケストラは1952年(昭和27年)に創立し、来年度は創立60周年を迎える長い歴史のあるビッグバンドです。昭和30年代のラテン音楽の流行とともにラテン要素を取り入れ、今でもラテンは当バンドの特徴としてかかせないものとなっております。その後も70年代にはロック、80年代以降はフュージョンと常に時代の最先端の音楽を取り入れ、演奏ジャンルの幅が広いのも特徴です。現在では、日本全国に3つしかない、数少ない学生ラテンジャズビッグバンドの1つと呼ばれており、コンガを中心としたラテンパーカッションが加わった熱い演奏を得意としています。過去にはT-SQUAREの伊東たけし氏や米米CLUBのフラッシュ金子氏も在籍しており、他にも数多くのプロミュージシャンを輩出しております。一昨年度に行われた記念すべき50回目のリサイタルではその伊東たけし氏との共演も果たしました。また毎年夏に行われている学生ビッグバンド界の甲子園として名高い「山野ビッグバンドジャズコンテスト」には、第1回目から38回の出場を重ね、今年度の大会では12位といった結果を頂きました。

ザ・ビッグ・バンド・オブ・ローグス [ゲスト:ルイス・バジェ(tp), チャリート(vo)]

The Big Band of Rogues は1968年、リーダー伊波秀進氏が東京六大学OBを中心として結成した社会人アマチュアビッグバンドです。ローグスのモットーは「楽しさ」です。1984年、1987年と国際交流基金事業として、アメリカのモンタレー・ジャズ・フェスティバルに出演し、また1999年にはカリフォルニアで開かれたIAJE(国際ジャズ教育者協会)年次大会に日本から初めて、ビッグバンドとして参加しました。そのステージは聴衆に大きなインパクトを与え、同時にメンバーもこの大会から、ジャズ教育の使命について、アメリカを始め世界の人たちが真剣に考えていることを学びました。ローグスの持ち味のひとつは、今はあまり聞かれなくなった「ビッグバンドによるラテン・ミュージック」です。あの東京キューバンボーイズのリーダーであった故見砂直照先生より、1983年に「東京キューバンボーイズ・ジュニア」のバンド名と譜面を譲り受け、ジャズはもとよりラテンバンドとしても積極的に活動を展開しています。私たちローグス、東京キューバンボーイズ・ジュニアは、今後もビッグバンドの音楽を多くの人々と共に楽しみたいと思っております。

